

令和 6 年度 海上の森保全活用事業の取組について

あいち海上の森条例(平成18年4月1日施行)に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する愛知万博記念の森と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの取り組みを行いました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の維持管理委託
森林の維持管理事業	森林整備	治山事業により本数調整伐を実施 5.82ha(恵みの森 2.18ha、循環の森3.64ha)14.19m3搬出 企業連携(ワタミ・SEF)により間伐を実施 8m3搬出(見込み)  <ワタミ・SEF>
	危険木伐採	枯損木、倒木等の危険木の除去 <5/30 処理状況>  <7/3 処理状況> 
	巡視	散策者の安全確保等のための落枝除去・歩道等の点検と巡視 台風や豪雨等の被害木の除去
	林道の維持管理	台風や豪雨等で損傷した林道、作業道、歩道等の整備補修
事業用地維持費		業者による草刈等の実施
自然環境調査事業	(委託調査) 猛禽類調査	海上の森における猛禽類の生息状況及び繁殖状況の調査
	猛禽類調査	海上の森の猛禽類の活動状況を把握し、その結果を海上の森の保全活用に役立てるため、猛禽類の飛翔状況などを調査
	稀少動物の生息状況調査	ムササビが生育する里山環境を維持保全するための基礎資料となる生息状況を調査
	ほ乳類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎資料となる、シカ、イノシシ、キツネ、タヌキ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第13号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目	取組状況
体験学習 プログラム	里と森の教室 里の農作業、里山文化の体験を通じて里山の魅力を知る 5/19～12/15の15日間で延べ306名参加  <5/26 田植え>  <9/29 稲刈り>
	グリーンウッド ワーク 里山の木でつくる暮らしの道具 ①ゲスト講演・講習会(6/15) ②スプーンづくり(8/3・4) ③ククサづくり(10/12・13) ④ゲスト講演・講習会(12/14) ⑤スツールづくり (1/25・26, 2/8・9) 定員①④各30名②③⑤各10名 参加者 74名  <2/9 スツールづくり>
体験学習 プログラム	キッズ アカデミー 森の楽しさやおもしろさを親子で体験・共有して学ぶ(12/1の1日間) <森のがっこう・小学生10組24名> <森のようちえん・園児13組34名>  
多様な 主体との 連携	<今年度の活動団体> 豊田自動織機、カルビー、CKD、ワタミ・SEF、ヤマとナデシコ、よりあい工房ば んどり、マリアムキッチン、山の会「くらら」、アズマプロジェクト <4/14 ヤマとナデシコ>  <2/22 ワタミ・SEF>  <企業、愛知県環境局、センターの3者協定による活動団体> 大和リース

事業項目		取組状況
多様な 主体との 連携	団体間の交流	パネル展示「NPO・グループ活動広場」の開催(2/24～3/15)3団体 団体活動交流会の開催(3/1)5団体 <パネル展示>  <団体活動交流会> 
	大学・学校 等との連携	<講義及び実習> 名古屋大学1年生(9/25)及び3年生(10/25) <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査、名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋学芸大学、あいちコウモリ調査隊など

(2)人材の育成

事業項目		取組状況
海上の森 アカデミー	講座 実施期間 参加者数	森女養成コース(4/27～6/9の6日間)参加8名・応募16名 森の自然教育コース(10/19～11/17の5日間)参加10名・応募11名 里山暮らしコース(11/23～1/12の5日間)参加8名・応募10名 <森女養成コース> (5/18 チェーンソー実践)  <森の自然教育コース> (11/16 広葉樹林での里山保全はどんなことをするの?)  <里山暮らしコース> (11/23 山仕事 事始め) 

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信のための事業

事業項目	取組状況
情報発信	ムーアカデミー通信発行2回 SNSによる情報発信

4 施設の整備と運営のための事業

事業項目	取組状況
施設整備	ウッドデッキ修繕工事 遊歩施設整備工事 里山サテライトエコトイレ修繕(排水管修繕、洗浄用ポンプ取替) 駐車場エコトイレ修繕(制御盤修繕・洗浄用ポンプ取替) <ウッドデッキ修繕工事>  <遊歩施設整備工事> 